

博士課程

2019

授業科目 〈シラバス〉

沖縄県立芸術大学大学院
芸術文化学研究所

授業科目〈シラバス〉について

この「2019 授業科目〈シラバス〉」は、平成 31 年度に大学院芸術文化科学研究科で開講される（一部休講科目を含む。）授業科目について、各担当教員から提出された授業科目〈シラバス〉をまとめたものです。履修計画や年間の学習計画を立てる際に利用してください。

なお、履修案内については、別冊「履修便覧」に記載しています。

1. 集中講義科目については、単位数・学期欄の（）内に表記されています。
2. 担当教員名欄には、科目の指導担当教員全員の氏名が記載されています。
3. 担当教員名欄の（客）は客員教授を、（非）は非常勤講師を表します。
4. 履修上の留意点には、履修の条件や注意事項のほかに、履修にあたり心掛けるべき点、学生への要望等が記載されています。

大学院芸術文化学研究科開設授業科目一覧表

科目コード	科目名	単位	学期	履修年次	授業区分	ページ
90112	芸術表現総合比較研究 I	2	通年	1・2	演習	1
90113	芸術表現総合比較研究 II	2	通年	2・3	演習	2
90228	比較美学研究A	2	後期	1・2	講義	3
90229	比較美学研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	4
90230	比較芸術学特殊研究A	2	前期	1・2	講義	5
90231	比較芸術学特殊研究B	2	後期(集中講義)	1・2	講義	6
90242	日本芸術批評史研究A	2	前期	1・2	講義	7
90243	日本芸術批評史研究B	2	後期(集中講義)	1・2	講義	8
90244	東洋芸術批評史研究A	2	前期	1・2	講義	9
90245	東洋芸術批評史研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	10
90234	西洋芸術批評史研究A	2	後期	1・2	講義	11
90235	西洋芸術批評史研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	12
90216	民族工芸論研究	4	通年	1・2	講義	13
90217	映像論研究	2	前期(集中講義)	1・2	講義	14
90246	日本芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	15
90247	日本芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	16
90248	民族芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	17
90249	民族芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	18
90251	東洋芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	19
90252	東洋芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	20
90250	民族芸術学特論	2	後期(集中講義)	1・2	講義	21
90238	東洋工芸史研究	4	通年	1・2	講義	22
90220	西洋音楽史研究	4	通年	1・2	講義	23
90221	日本音楽史研究	4	通年	1・2	講義	24
90223	民族音楽学研究	4	通年	1・2	講義	25
90224	琉球音楽論研究	4	通年	1・2	講義	26
90225	民族舞踊学研究	4	通年	1・2	講義	27
90226	民俗芸能論研究	4	通年	1・2	講義	28
90227	琉球楽劇論研究	4	通年	1・2	講義	29
90239	楽曲分析研究	2	後期	1・2	講義	30
90240	アートマネジメント研究	2	通年	1・2	演習	31
90241	芸術学研究	2	通年	1・2	講義	32

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90238	東洋工芸史研究 (奇数年度開講)	4単位 通年	1・2	講義	柳悦州 (非) 新田摂子

■テーマ 染織をとして東洋の工芸の特質と意義の一端を明らかにする。

■授業の概要

織物を織ることは、人びとの生活と密接に関わってきた。この授業では、沖縄とラオスやシルクロード沿い諸国の織機構造や染織技術について、歴史的変遷や文化的背景を視野に入れながら検討しながら、東洋の工芸の意義について研究していく。

■到達目標

- ・東洋における工芸は、時代とともに変化していくことを説明できる。
- ・西洋における産業革命が、東洋においてどのような影響を与えたのか説明できる。
- ・東洋の美意識について理解し説明できるようになる。

■授業計画・方法

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. ガイダンス | 16. 日本の織物 (江戸時代) |
| 2. 織物素材 | 17. 日本の織物 (江戸時代後期) |
| 3. 繊維素材から糸を製作する方法 (苧麻、綿) | 18. 日本の織物 (明治～戦前) |
| 4. 繊維素材から糸を製作する方法 (絹、羊毛) | 19. 沖縄の織物 (王朝時代) |
| 5. 織物と織機 | 20. 沖縄の織物 (明治～戦前) |
| 6. 経糸の整経方式 | 21. 沖縄の織物 (戦後) |
| 7. 織機の機能と構造 | 22. 奄美の織物 |
| 8. 織機の歴史的変遷 | 23. 沖縄の腰機と紋織 |
| 9. 東洋の織機の特徴 | 24. 沖縄の拵 |
| 10. 産業革命 | 25. 沖縄の緯拵 |
| 11. ジャポニズム | 26. 本土と沖縄の拵 |
| 12. ラオスの織物 (平地ラオ族) | 27. 西洋の美意識、日本の美意識 |
| 13. ラオスの織物 (山地少数民族) | 28. 沖縄の美意識 |
| 14. イラン、ウズベキスタンの染織 | 29. 戦後沖縄の工芸と美意識 |
| 15. トルコ、シリアの織物 | 30. まとめ |

■定期試験および解説・まとめ

定期試験は実施しない。

■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

- ・織物と織物技術に関する基礎的な知識が必要である。
- ・次回の講義内容に関するキーワードを示す。受講生はそのキーワードについて予習を行い授業に望むこと。
- ・キーワードをもとにディスカッションを行いながら理解を深めていく。
- ・定期試験は行わないが、4回のレポート提出が求められる。

■成績評価の方法・基準

□方法 授業への参加状況 (20%)、レポートの提出状況(30%)、ディスカッションの内容 (50%)

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

芸術文化学研究科 (博士課程) の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■教科書・参考文献 (資料) 等

□参考文献

『沖縄織物の研究』田中敏夫・玲子 京都書院

『世界の織機と織物』吉本忍編著・柳悦州作図 国立民族学博物館

『100年前の写真で見る世界の民族衣装』ナショナル ジオグラフィック編